



# 鹿児島戦記

明治十年二月廿三日熊本城より  
 二里余へく、木の葉高へ三巨魁  
 の一名桐世利、杖今ち知れぬの  
 具装と卒、新政府、麻原の  
 領とみざり、探杖と訪、上幕  
 威と示、をかん、所之福岡は  
 台一の兵ハ、極本宿へ出、けり、  
 本村と立り、よあり、田系坂の峻、  
 の地と由り、下り、焼殺をせ、  
 桐世が兵も向ひ、戦ひ、双方一歩  
 も退そ、す、戦ひの、合、し、  
 指、さ、す、今、き、り、る、時、の、桐、世、  
 一、斗、あ、り、俄、く、石、油、を、大、地、に、垂、  
 ぎ、松、明、を、な、げ、投、り、台、兵、を、ま、ま、  
 ん、と、採、ら、し、す、謀、と、ぞ、  
 麻見嶋戦新誌之記者  
 篠田仙果述



楊洲齋周延著  
 定價 上野大六、土浦池  
 義房、島工、折、林、吉、正  
 仙果、神田、仙、果、述  
 有全、仙、果、述

